

三栄です

こんにちは いつもお世話になっております

第89号

発行元



株式会社三栄サービス

発行人 紺野 琢生



危険物（リチウムイオン電池、ライター、スプレー缶など）の混入防止にご協力をお願いします！

先日、古紙・古着の回収を行っていたパッカー車が燃えてしまう火災が発生しました。火元は、古紙に混入したライターではないかと考えられています。

パッカー車の火災は、不燃ごみの回収の際に発生することが多いのですが、組合関係車両で古紙・古着を集めているパッカー車でもこうした事態が発生し、非常に危機感を覚えております。古紙・古

着は不燃ごみよりも可燃性が高いので、一度火災が発生してしまうと被害がどうしても大きくなります。この度の火災でもパッカー車一台が使用できなくなり、その被害は一千万円超にも及びます。万が一、古紙問屋に持ち込まれてから発火した場合、被害はさらに大きくなる可能性があります。実際当社でもリチウムイオン電池が内蔵された小型ゲーム機によるボヤ騒ぎが発生したことがあります。

古紙・古着にわざわざこうした危険物を入れるということは無いと思いますが、雑誌を溜めている紙袋の中にライターが誤って落ちてしまふとか、リチウムイオン電池内蔵の小型家電が入ったまま箱を段ボールとして出してしまうケースが考えられます。

市民の皆様におかれましては、古紙・古着にリチウムイオン電池、ライター、スプレー缶などの危険物を混入させないことはもちろんですが、危険物が置いてある近くに古紙を保管しないように十分ご注意くださいようお願い申し上げます。

当社が加盟する東多摩再資源化事業協同組合は官公需適格組合です。

当社が加盟し、各市の資源回収委託の窓口になっている東多摩再資源化事業協同組合（東多摩再資源協）は、二〇〇五年に東経済産業局より『官公需適格組合』の認証を関東地区で第一号で受けております。

『官公需適格組合』とは、官公需の受注に対して特に意欲的であり、かつ受注した契約は十分に責任を持って履行できる体制が整備されている組合であることを中小企業庁が証明する制度です。そして、この認証を受けるためには、経済的な基盤や責任者の常駐など様々な要件があるのですが、内部検査制度があることも一つの条件になっています。

組合では共同受注検査を定期的に実施しており、当社もこの検査を定期的に受けております。回収に使用する車両、作業員について、法令遵守、安全対策等の観点から十数項目にわたって検査を行います。ですので、当社は、『官公需適格組合』である東多摩再資源協の共同受注検査に合格した会社であると言えます。

東多摩再資源協は、品質と安全の向上のためにこの取り組みを先進的かつ積極的に取り組んでおり、全国的にも注目をされております。去る六月には新潟県、七月には埼玉県、十月には千葉県の中小企業団体中央会より講演依頼を受け、当社社長の紺野が組合専務理事として東多摩再資源協の取り組みについて紹介をしました。



社報



当社社員の関根宏宣が九月二三日逝去致しました。平成七年の入社以来、三十年に亘って当社の作業全般を担って頂き、困ったときには関根さんと皆頼りにしております。前日まで出勤しておりましたので、まだ信じられませんが、関根さん、安らかにお休み下さい。